

【評価実施概要】

事業所番号	150480036		
法人名	医療法人北武会		
事業所名	グループホームほくと		
所在地	〒006-0023 札幌市手稲区本町3丁目2番5号 (電話) 011-681-1566		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B (電話) 011-281-5871		
訪問調査日	平成22年3月17日	評価確定日	平成22年3月30日

【情報提供票より】(22年2月25日事業所記入)

開設年月日	平成15年7月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤16人, 非常勤 1 人, 常勤換算	0.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3 階建ての	3 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有(40,000 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	430 円
	夕食	430 円	おやつ	123 円
	または1ヶ月当たり 40,000 円			

(4) 利用者の概要(2月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5	要介護2	4		
要介護3	5	要介護4	4		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 86 歳	最低	70 歳	最高	102 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北都内科クリニック・北寿会歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR手稲駅にほど近く、利便性の良い住宅地で、手稲山麓の自然環境にも恵まれたホームである。1階には運営母体法人の内科クリニックがあり、利用者・家族にとって安心度が高い。職員は優しくおだやかで、利用者とは馴染みの関係が構築されており、食前の嚥下体操・食後の口腔ケアも実践し健康効果を上げている。地域との交流も盛んで、町内会の回覧板にホーム便りを掲載し、近隣住民や『高齢者下宿』の入居者・介護職員とは日常的に交流しており、民謡・三味線・化粧等のボランティアの導入で生活範囲を広げる支援をしている。防災設備は火災報知機・スプリンクラー・防火扉等があり、出火場所が特定できる防災監視装置もある。今後も質の高いケアの実践と共に、今以上に地域住民から支援されるホームであるよう期待したい。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での改善課題『日常的な外出支援』は、ホーム近隣は坂道が多く冬の外出は大変であるが、個別の買い物や家族同行の外出行事を積極的に行き、自然に屋外に出掛けられるように支援している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員が取り組み、ミーティングで話し合い管理者がまとめ仕上げた。自己評価・外部評価は、誰でもが閲覧できるようにエレベーター前に掲出している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に行われている運営推進会議では、家族代表・地域住民代表・地域包括支援センター職員・管理者が参加し行事予定と報告・健康管理・防災計画・地域との交流等、地域密着型事業所としての活発な意見交換が行われ、サービスの質の向上と事業所の運営に活かされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>エレベーター横に意見箱を設置している。年2回の家族アンケート結果は、事業所の運営に効果を上げている。月に一度、ホーム機関紙『ほくと便り』を発行している。また家族の訪問時には近況等を報告している。金銭管理については、毎月使用明細書と領収書を添え、報告している。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に加入し、町内会行事や、コミュニティセンターの活動に参加している。またホーム行事の夏祭りには近隣の人達が参加するなど交流している。毎日の散歩や買い物、外出時の挨拶などで、地域の人たちと自然にかかわるように努めている。『ホーム便り』を町内の回覧板に掲載し、啓蒙活動もしている。

## 2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し『家族・大切な人と交流が図れ、地域社会の一員として生活が送れる暮らし』と事業所独自の理念を実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は誰もが見やすいようにリビング・事務室内に掲示し、会議やミーティングなどで常に確認し、全職員で共有に努めている。さらに名札裏面に理念を入れ、理念の実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内会行事や、コミュニティセンターの活動に参加している。またホーム行事の夏祭りには近隣の人々が参加するなど交流している。毎日の散歩や買い物、外出時の挨拶などで、地域の人たちと自然にかかわるように努めている。『ホーム便り』を町内の回覧板に掲載し、啓蒙活動もしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員が取り組み、ミーティングで話し合い管理者がまとめ仕上げた。自己評価・外部評価は、誰でもが閲覧できるようにエレベーター前に掲出している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に行われている運営推進会議では、家族代表・地域住民代表・地域包括支援センター職員・管理者が参加し行事予定と報告・健康管理・防災計画・地域との交流等、地域密着型事業所としての活発な意見交換が行われ、サービスの質の向上と事業所の運営に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加や、区管理者連絡会議などに参加し、行政方針の理解に努め、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に一度、ホーム機関紙『ほくと便り』を発行している。また家族の訪問時には近況等を報告している。必要に応じ、心身の緊急連絡等きめ細かな配慮をしている。金銭管理については、毎月使用明細書と領収書を添え、報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>エレベーター横に意見箱を設置している。年2回の家族アンケート結果は、事業所の運営に効果を上げている。来所時の会話の中から希望・要望・意見をくみ取り、家族の思いを受け入れ、ケアに反映するようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職予定者の意向は早めに捉え、引き継ぎ時間を十分確保しダメージを防ぐ配慮をしており、利用者との馴染みの関係を大切にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>母体運営法人全体での研修体制が充実しており参加を義務付け、スキルアップを図っている。外部研修は事務所の掲示板で公表し、研修参加後は復命書の提出と伝達講習をしている。研修報告書は全職員が閲覧し情報を共有出来るようにしている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営母体の医療法人は多くの福祉施設を運営しており、人事交流・研修会・行事訪問が日常的に行われている。近隣の『高齢者下宿』の介護職員とは、行事等の相互訪問活動を通じ、交流している。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者や家族の実情や要望を傾聴し、自宅や施設訪問・ホーム見学等で、徐々に馴染めるよう、配慮しながら行っている。また家族と相談し昔からの生活習慣を大切にしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々共に過ごしながら、利用者中心の生活をしている。人生の先輩として常に尊敬の念を忘れずに感謝の気持ちを持つよう心掛け、一人ひとりの希望に沿った支援が出来るように、共に学び支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の様子や会話から、希望や要望を記録し、本人本位の生活が出来るように努めており、センター方式を使用したアセスメントを行っている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族の意向や希望を大切にし、心身の変化や日常の生活課題に応じ、充実した日々が過ごせるように、介護支援専門員（ケアマネージャー）と担当職員が協力し、個人に合った介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に、介護計画の見直しをしている。毎日の状態を記録し、カンファレンスで話し合い、状況に即したケアプランを作成している。また、必要に応じ随時見直しを図り実情に即した介護計画を作成している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体医療法人の内科クリニックが1階にあるので安心度が高い。利用者個々の状況に合わせて訪問理美容を利用する等、事業所の多機能性を活かし柔軟な対応をして個々の満足度を高めるよう努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一階内科クリニックが協力医療機関で、日常の健康管理や特定診断をうけている。事業所には看護師が週2回勤務しており、緊急時には24時間体制で連絡が付く。訪問歯科の診療で治療や指導を受けている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、利用者や家族に説明し、情報を共有している。『重度化した場合における対応及び看取りに関する指針』は文書化している。運営母体医療法人の内科クリニックが事業所一階にあるので安心感がある。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として尊敬の気持ちを忘れずに接している。利用者本人のプライドや羞恥心を大切にし、プライバシーに関わる事は周囲に配慮しながら行ってる。記録等の個人情報は事務所の鍵の掛る書棚で、厳重に管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが基本的に自由に過ごし、出来るだけ個別性のある生活を実施している。散歩・買い物・入浴等も個々の状態や体調に配慮しながら柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの嗜好に合わせたメニューを提供している。準備・調理・配ぜん・後片付け等個々のペースに合わせ、職員と一緒に楽しみながら行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調や要望を聞き、気持ちよくゆっくり入浴が出来るよう支援している。入浴ができない場合は、他の日に振り替えるなど臨機応変に対応している。入浴拒否傾向の利用者には声掛けや入浴剤を工夫するなどしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備・配膳・後片付け・掃除等、利用者の経験・知識を発揮する場面を作り設定している。体操・レクリエーション・買い物・外出・町内会行事参加等の楽しみ事も本人と相談し支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や買い物で外出している。行事外出などで自然に外出できる機会を作っている。3Fルーフバルコニーを活用し、日光浴やティータイムで外気を楽しむ機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアの重要性を理解し、日中は施錠していない。夜間については、防犯上一階玄関は施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署指導のもと5月・11月の年2回昼夜想定 の避難訓練を行っている。消火器や救助袋等の設 備点検・通報訓練等も行われている。スプリン ラーや防火扉は設置済みで、避難階段もあり安 心・安全に配慮している。地域住民の協力が得ら れるように、運営推進会議を通じ話し合われている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通して確保できるよう、一人ひとりの 状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量は個別に記録している。管 理栄養士作成のメニューを参考に、栄養バラ ンス・塩分摂取に気を配り、食欲が出るよう 見た目にも美しく盛り付けしている。一人ひ とりの身体・咀嚼・嚥下状況にあわせた食事 を提供し、給食会議も行われている。</p>		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間の壁には利用者の作品や行事写真が 飾られ、トイレ・廊下には手すりが効果的に 配置されている。日常生活の匂いや音（食事 作りや掃除）で五感を刺激し、温度・湿度に 気を配り、消火装置の整備など安心感の高い ホームを作っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の使い慣れた、馴染みの家具・調度品・ 生活用品を各家庭から持参し家族写真や手芸 作品等を飾り、安心して心地よく過ごせるよ う工夫している。カーテンは防災加工されて いる。</p>		

 は、重点項目。